

公益社団法人 東京生薬協会

令和7年度

(2025年4月1日～2026年3月31日)

事業報告書

I. 令和7年度 事業報告

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会

（学術委員会）

① 春の薬草観察会

（事業管理委員会）

- ・開催日：令和7年4月19日（土）10:00～15:00
- ・場 所：武蔵五日市・横沢入（東京都あきる野市）
- ・講 師：池村国弘、南雲 清二、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：49名

② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和7年9月27日（土）10:00～15:00
- ・場 所：皇居東御苑（東京都千代田区）
- ・講 師：池村国弘、南雲 清二、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：49名

2) 薬草収穫感謝の会

（総務委員会）

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：令和7年11月1日（土）9:45～13:00
- ・場 所：東京都薬用植物園 研修室
- ・講 師：大泉 高明（株式会社大和生物研究所代表取締役）
- ・演 題：日本文化から見る生薬としての笹～江戸文化におけるセルフメディケーション
- ・入園者：874名
- ・アンケート回答者数：423名

3) 第40回 生薬に関する懇談会の開催

（学術委員会）

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催

- ・共 催：(一社)日本生薬学会関東支部、(公社)東京生薬協会
- ・開催日：令和7年10月5日（日）12:30～18:00
- ・会 場：北里大学薬学部
- ・テーマ：防風（ボウフウ）
- ・参加者：167名

4) 薬用植物・生薬・漢方に関する講座

（学術委員会）

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう開催

- ・開催日：令和7年8月～令和7年12月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円

合計381名（対前年比144%）

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 8月31日（日）	夏の漢方活用術 金匱会診療所 理事薬局長 針ヶ谷 哲也先生	おなか（腸）の不調に効く漢方 北里大学東洋医学研究所漢方鍼灸治療 センター長 星野 卓之先生	86
【第2回】 9月28日（日）	生薬のチカラは、漢方のチカラⅥ 昭和大学薬学部 教授 川添 和義先生	女性の漢方Ⅴ ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子先生	84
【第3回】 10月26日（日）	チャノキの効用と、栄西、喫茶養生記 北里大学薬学部 東洋医学総合研究所長 小林 義典先生	気分面に働く漢方Ⅳ 青山杵渕クリニック 院長 杵渕 彰先生	63
【第4回】 11月30日（日）	薬を創った植物たち 日本大学薬学部教授 松崎 佳一先生	消化器疾患と漢方 東京医科大学教授 及川 哲郎先生	73
【第5回】 12月21日（日）	香りと気の巡りの話 東邦大学薬学部 名誉教授 小池 一男先生	漢方診療の基礎と極意 東海大学医学部 客員教授 新井 信先生	75

5) 第18回 OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

（事務局）

- ・主 催：（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、
日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会
（公社）東京都医薬品登録販売者協会
- ・後 援：厚生労働省、東京都、千代田区、（公社）東京都医師会、（公社）東京都薬剤師会
（公社）東京都歯科医師会
- ・開催日：令和7年10月3日（金）～4日（土）
- ・形 式：神田明神・文化交流館＋YouTube 同時生配信
- ・出展社：30社
- ・内 容：出展企業プレゼンテーション（13社）
江戸きらりプロジェクトスペシャル対談：東京都医師会長 尾崎治夫先生、喜
美勇様、今こそ求められる「養生」、7つの柱
特別講演：医療保険制度とセルフメディケーション～自治体におけるチャレ
ンジ～ 横尾俊彦（佐賀県多久市前市長）
- ・参加者：来場者5,260名、サイトアクセス数41,013回

6) 会報の発行（7月、1月）

（広報委員会）

- ・生薬・薬用植物等に関する最新情報や動向、薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動実績を広く告知するために、年2回発行した。
- ・発行月：7月(HP掲載)、1月(HP掲載)

7) 協会ホームページの更新

（広報委員会）

- ・「季節の花」「イベント情報」「新常用和漢薬集」「薬用植物・生薬・漢方に関する講座」等、最新情報の提供とコンテンツの充実を図った。加えて、新規カテゴリーとして「歴史・沿革」のページ群を公開した。

年度通期のページビュー数は、対前年度比で約116%、対一昨年度比では約133%と、継続してアクセス増加基調にある。

- ・表1：ホームページへのアクセス状況

期 間	ページビュー数
1Q：2025/04/01～2025/06/30	222,097
2Q：2025/07/01～2025/09/30	193,379
3Q：2025/10/01～2025/12/31	193,772
4Q：2026/01/01～2026/03/31	169,038
2025（令和7）年度 通期合計	778,286
前年度 1Q	223,956
前年度 2Q	162,215
前年度 3Q	170,916
前年度 4Q	114,395
2024（令和6）年度 通期合計	671,482
対前年度比	115.9%
2023（令和5）年度 通期合計	586,611
対一昨年度比	132.7%

アクセスの多かったコンテンツ上位5項目を「表2」に示す。

「新常用和漢薬集：個別生薬」および「季節の花」の内訳を、独自の計数システムで継続的にモニタリングしている。これら上位各10位を「表3」「表4」に示す。

- ・表2：令和7年度通期 アクセス上位コンテンツ TOP5

コンテンツ	ページビュー数
新常用和漢薬集：個別生薬合計	308,220
季節の花：すべての合計	290,982
新常用和漢薬集：目次	30,316
トップページ	22,954
イベント・講座	21,396

・表 3：令和 7 年度通期「新常用和漢薬集」掲載生薬のアクセス TOP10

生薬名	ページビュー数
カンゾウ	14,984
オウバク	14,149
ブクリョウ	12,095
ダイオウ	11,533
マオウ	10,605
オウレン	10,177
ケイヒ	10,122
ジオウ	9,782
オウゴン	9,689
キョウニン	9,491

・表 4：令和 7 年度通期「季節の花」掲載植物のアクセス TOP10

植物名	ページビュー数
サンシュユ	8,073
シモバシラ	5,083
ミミガタテンナンショウ	5,019
ロウバイ	4,384
オナモミ	4,347
ムラサキシキブ	3,823
オオボウシバナ	3,510
ミシマサイコ	3,200
カタクリ	3,134
ヒトツバタゴ	2,955

8) ふれあいガーデン事業

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・令和 7 年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の 3 者共同事業体にて、園内 400 m²を対象に薬用植物に関連した事業。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4 月	26 日(土)	春の植物に親しむ ～いろいろな角度から観察してみよう～	和田 浩志	65

5月	24日(土)	草木染・カモミール	山 浩美	29
6月	14日(土)	ハーブ講座食べられるハーブで作るリース	浅井 昭子	23
	28日(土)	季節のアレンジ フレッシュリース	田淵 清美	19
10月	18日(土)	落語に見る食の風景 その9	一升亭吞介(落語研究家)	48
	25日(土)	ハーブ講座 レモングラスで作るクラフト	浅井 昭子	21
11月	8日(土)	多肉植物を育てましょう	山 浩美	27
	15日(土)	植物ガイドになろう	鈴木 純	56
	29日(土)	アマゾン野草紀行	山下 智道	69
12月	6日(木)	季節のアレンジ フレッシュなグリーンで作るクリスマスツリー	田淵 清美	23
	11日(土)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子	40
	20日(土)	季節のアレンジ お正月に向けてしめ縄飾り	神蔵 いくよ	35
3月	6日(金)	健康講座	東京薬事協会	57

9)新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方(18局)と照合する改訂作業を実施中。公開品目数は、166生薬。

10)江戸東京きらりプロジェクト

(事務局)

『生薬(薬草)をよく知って、セルフメディケーションをPR』

・生き生きと健康的な生活を持続し快適な人生を過ごすため、イベント等の機会を通じて、江戸の庶民の暮らしに密着していたセルフメディケーションの実践や、セルフメディケーションに果たす家庭薬など一般薬の役割、それらに活用されている生薬、生薬国内栽培事業の重要性や意義を普及啓発した。両イベントにおいてアンケートを実施した。アンケート結果は③のとおり。

① OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

前掲5)のとおり

② 薬草収穫感謝の会

前掲2)のとおり

③ アンケート結果

来場者アンケート設問	イベント名	総数(人)	理 解 ・ 実践数(人)	(%)
問1「セルフメディケーション」と	OTC 医薬品普及イベント	1,042	874	83.9

という言葉を知っていましたか	薬草収穫感謝の会	397	244	61.5
問2「セルフメディケーション」を実践したい	OTC 医薬品普及イベント	1,042	1,033	99.2
問2「セルフメディケーション」を実践している	薬草収穫感謝の会	397	262	66.1
問3 どんなことを実践していますか	OTC 医薬品普及イベント	691	第1位 健康情報を 得る	66.4
	薬草収穫感謝の会	102	第1位 バランスの とれた食事	25.9
問4 年代	OTC 医薬品普及イベント： 20代:9.6% 30代:24.3% 40代:28% 50代:21.7% 60代:11.3% 70代:3% 80代:1%			
	薬草収穫感謝の会： 20代:2.5% 30代:3% 40代:3.7% 50代:11.5% 60代:20.9% 70代:31.9% 80代:24.9%			
問5 居住地	OTC 医薬品普及イベント	都内：68.3% 都外：31.7%		
	薬草収穫感謝の会	都内：92.6% 都外：7.4%		

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その2）

【東京都薬用植物園受託事業】

（事業管理委員会）

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応：1,442件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：886件

園内管理：土、日、祝日対応：117日

年間来園者数：93,543人（対前年比96.0%）

(2) 栽培補助業務（標本栽培区、温室、育苗その他）：延べ1,696人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業（ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務）：

延べ 336 人/年

- (4) 普及啓発事業（詳細は各項）：31 日間実施、参加者数：2,136 名
協会の応援人数延べ：66 人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	5,000 部
写真で見る絶滅危惧種植物	5,000 部
「四季の薬草」パンフレット	0 部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	2,892 部
野外展示用ラベル及び立て札	320 枚
ケシ講座	2,000 部
アサ(大麻草)鑑別マニュアル	0 部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等
栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等
清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等
警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1 回	4 月 17 日 (木)	尾瀬の自然を楽しむ	山田 典一 (みなかみガイド協会)	91
2 回	5 月 15 日 (木)	つらい痛みがなくなる漢方～関節痛・腰痛・頭痛を治す！～	新井 信 (東海大学医学部 教授)	101
3 回	6 月 18 日 (水)	色のかで梅雨を乗り切る	田中 光子 (色彩心理カウンセラー)	84
4 回	7 月 17 日 (木)	未病に役立つ植物	杉本 幸子 (順天堂大学薬学部 准教授)	102
5 回	9 月 18 日 (木)	東京の森を歩く その 2	福嶋 司 (東京農工大学 名誉教授)	84
6 回	10 月 17 日 (金)	渡良瀬の魅力ある植物	加藤 祐一 (日本植物友の会参与)	73
7 回	11 月 19 日 (水)	東洋医学における養生～名僧 (沢庵、白隠) に学ぶ	小林 義典 (北里大学薬学部教授)	106
8 回	12 月 16 日 (火)	春に向けて薬用植物を学ぶ	三宅 克典 (東京薬科大学 准教授)	93

(2) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	20 回	1,220 名
② 薬務・保健所等研修	6 回	42 名
③ 警察・薬防協等研修	16 回	287 名
④ 学生研修	4 回	243 名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	3 回	54 名
⑥ 一般（団体）指導	2 回	27 名

3) 薬用植物の栽培

① 薬事監視業務の一環として、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

① 種子交換 ：種子調製・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。

② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。

③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。

④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培事業の実施（連携協定先自治体）

(薬用植物国内栽培事業委員会)

① 熊本県天草市 薬用植物国内栽培の促進に関する連携協定に係る調印式

開催日：令和7年7月28日（月）～29日（火）

開催場所：天草市役所 庁議室

出席者：・東京生薬協会（藤井会長、相原専務理事、末次特任理事、小林薬用植物国内栽培事業委員長、川原相談役、加賀事業管理委員長、山上統括責任者、田中事務局長）

・医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター吉松センター長

・天草市（馬場市長、野崎副市長、鶴田経済部長ほか）

栽培地見学：宮地岳の圃場

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案検討委員会等に係る活動

(学術委員会)

① 生薬等(A)委員会：6月、9月、11月、2月に開催。

小栗氏・神本氏（ツムラ）が参加

委員会の議事メモが学術委員会に報告された。

新規収載案の主な審議案件は下記の通り

- ・人参養栄湯エキス
- ・柴胡加竜骨牡蛎湯エキス
- ・桂枝加竜骨牡蛎湯エキス
- ・センナジツ【局外生規からの移行品目】
- ・チクジョ【局外生規からの移行品目】

② 生薬等(B)委員会：5月、8月、10月、1月、3月に開催。

青木氏（ツムラ）が参加。委員会の議事メモが学術委員会に報告され、試験法案の追試等の対応がなされた。改正案及び新規収載案の主な審議案件は下記の通り

○第十九改正および第一追補日本薬局方収載

[生薬総則]

- ・切断生薬の流通実態との齟齬の解消

[一般試験法]

- ・試薬・試液「シリコーン樹脂」、「定量用インドメタシン」、定量用シノブファギン、ブファリン、レジブフォゲニン、定量用ペリルアルデヒド、核磁気共鳴スペクトル測定用試薬の名称変更、薄層クロマトグラフィー用マスリン酸、薄層クロマトグラフィー用シャゼンシ

[各条]

- ・カンテン末、シャクヤク【基原】
- ・ダイオウ、トウニン、トウニン末、キョウニン末、センキュウ末、ガイヨウ、エイジツ末、シャクヤク【性状】
- ・センキュウ末、キキョウ末、ショウキョウ末【純度試験】
- ・セネガおよびセネガ末、センキュウ末、サンザシ、ウコン(末)、ゲンチアナ(末)、タイソウ、カノコソウ(末)、チョウジ油、ロートエキス、ロートエキス散、ロートコン、シャゼンシ【確認試験】
- ・ウコン(末)、キョウニン、トウニン(末)、チンピ【定量法】
- ・qNMR 純度規定が追加された定量用試薬の規格一本化の影響：キョウニン：アミグダリン、トウニン、トウニン末：アミグダリン、ウワウルシ：アルブチン、チョウトウコウ：総アルカロイド（リンコフィリン及びヒルスチン）、桂枝茯苓丸、桃核承気湯、麻黄湯の各エキス：アミグダリン、ウワウルシ流エキス：アルブチン
- ・柴胡加竜骨牡蛎湯エキス、桂枝加竜骨牡蛎湯エキス、センナジツ【新規収載】

○第二十改正日本薬局方収載：検討方針、検討項目の整理

③ 日本薬局方外生薬規格に関する検討連絡会議及び局外生規 2026 作成 WG

検討連絡会議は 6 月、10 月、3 月に、WG は 4 月、7 月、10 月、1 月に実施。
各協会からの改正要望に基づき、主な審議案件は下記のとおり。

協会から検討連絡会議には原氏（イスクラ産業）・神本氏（ツムラ）が参加、WG
には、新澤氏（1 月より加茂氏）（イスクラ産業）・神本氏（ツムラ）が参加。

〔既収載品目〕

センナジツ末、チンピエキス

〔新規収載品目〕

センナエキス、ガラナ（ガラナシード）、ソウキセイ、タンズシ（タントウシ、ズ
シ、コウシ）、プランタゴ・オバタ種皮、トシシ、トシシ末、タンチクヨウ

④ AMED 研究班：今年度より、これまで生薬等委員会の下部会議体として設置され
ていた検討班が整理され、新たに 5 つの検討班として設置された。以前は企業単位
での参加であったが、新研究班においては、各協会からの派遣となった。

・性状、遺伝子班

5 月、10 月、12 月、3 月に開催。以下の生薬の基原・性状について報告、当研
究班での審議結果に基づき生薬等委員会で審議。

検討生薬：トシシ（末）、テンモンドウ、トウガラシ、セイコウ、オウヒ、チクジ
ョ、トウニン（末）、キョウニン（末）、ダイオウ、ガイヨウ、ビャクジ
ュツ、タンチクヨウ、キンギンカ、センキュウ末、ショウバク、センナ
ジツ、ハング、エイジツ末、シャクヤク（末）、キョウカツ、シツリシ、
シャゼンシ、バクモンドウ、ゴミシ

参加者：山路氏、小栗氏、張氏、谷畑氏（ツムラ）、佐藤氏（龍角散）、奥川氏
（日本漢方製薬）、浦邊氏（フジリイソリウム）

・理化学試験法班

4 月、7 月、9 月、11 月、1 月に開催。以下の生薬試験について報告、当研究班
での審議結果に基づき生薬等委員会で審議。

検討生薬：タイソウ、カノコソウ、ゲンチアナ(末)、オンジ(末)、ウコン(末)、シ
ャゼンシ、ロートコン、ロートエキス、ロートエキス散、ゴオウ(末)

検討試薬：薄層クロマトグラフィー用マスリン酸

その他：日局 19 査読会指摘事項への対応

参加者：神本氏、江村氏（ツムラ）、佐藤氏（龍角散）、奥川氏（日本漢方製薬）

・安全性評価法検討班

5 月、12 月、2 月に開催。

前年度：海外での基準や評価方法に関して、調査を行う。具体的にはヨーロッパ薬
局方、アメリカ薬局方、香港生薬基準等における規格・規定の調査や分析方法につ
いての文献調査を行う。また、これと並行して比色法や簡易ボルタンメトリー法な
どのヒ素及び重金属の個別測定についての文献調査及び測定条件検討等を行う。

【マイルストーン：関連学会研究者との研究班を立ち上げる】

今年度：前年度の調査結果を基に、測定方法や分析する金属について、試料調製法、
分析条件等の最適化を検討する。【マイルストーン：分析条件を確立する】

最終年度：研究分担者を交代し、引き続き最適化の検討を行うとともに分析可能な生薬や生薬製剤の拡充を行う。3年間で得られた研究成果を学会や学術論文で発表する。

- 比色法（パックテスト）を用いた分析：Cd についての検討
良好な結果を得られたので、作成したプロトコル案を用いて共同試験を行う。Pb 及び As も同様に適用を試みる。
- ボルタンメトリー法による As, Hg, Pb 及び Cd 分析の検討
比色法と同様に調製した検液についてボルタンメトリー装置を用いて測定を行った。パックテストと同一検体で分析結果を比較検討する。

参加者：佐藤氏（龍角散）、菊地氏（東京生薬協会）、奥川氏（日本漢方製薬）

• 漢方処方エキス班

4月、9月、11月、12月に開催。本会議の決定事項等については生薬等A委員会に上程する。

人参養栄湯エキスの検討：確認試験：ニンジン、トウキ、シャクヤク、ジオウ、ビャクジュツ（検討終了）

五苓散エキス法の展開溶媒を変更し、精油定量器を用いない方法を検討。

＜指標成分：(E)-シンナムアルデヒド＞

五苓散エキス法の展開溶媒および標準溶液のスポットを変更し、検討中。

＜指標成分：(E)-2-メトキシシンナムアルデヒド＞

桂枝加竜骨牡蛎湯エキスおよび柴胡加竜骨牡蛎湯エキスの性状確認

色については、各社褐色周りの単語が使われているが、現在の日局作成基本方針に倣い、JIS色名帳での色表現に沿った形で日局の規格は定める。

柴胡加竜骨牡蛎湯エキスの定量法検討（以下了承された）

- (1) 定量法：サイコサポニンb2 大柴胡湯エキス法の改良法で検討。
- (2) 定量法：バイカリン 柴苓湯エキス法で検討。
- (3) 定量法：ギンセノシド Rb1 （改良法）六君子湯エキス法の改良法で検討。

桂枝加竜骨牡蛎湯エキスの確認試験検討

- (1) 確認試験：ケイヒ 桂枝茯苓丸エキス法の改良法で検討＜指標成分：(E)-ケイ皮酸＞ スポット量を1 μ L に減量する方法とする。色調は「青紫のスポット」とする。
- (2) 確認試験：シャクヤク ①大柴胡湯エキス法で検討。＜指標成分：ペオニフロリン＞ スポット量を1 μ L とする。「赤紫色～紫色のスポットとする。」
②大柴胡湯エキス法の噴霧試液を変更した方法で検討。＜指標成分：ペオニフロリン＞ スポット量 1 マイクロとする。噴霧試液を 4-メトキシベンズアルデヒド・硫酸・酢酸・エタノール試液 とする。

参加者：菊地氏（東京生薬協会）、奥川氏（日本漢方製薬）

• ガイドライン班

8月、11月、3月に開催。本研究班は、生薬製剤に関するガイドラインの整備・改正を目的とし、厚労省とも連携して検討を進めている。対象は「ガイドライン

でしか解決できない課題」に限定し、業界からの要望に基づき、緊急性・重要性を踏まえて優先順位を付けて取り組む。

現在の主な議題は、当帰川芎製剤の効能効果見直しや、単味生薬ガイダンスの改正。また、処方変更ガイドラインの整備やニクジュヨウエキスに関する検討、動物生薬ガイドラインの整備に関する課題も挙がっている。各団体は具体的な課題案の提出を求められている。

参加者：末次氏（東京生薬協会）、佐藤氏（龍角散）、原氏（イスクラ産業）

2) 薬用植物栽培連携協定締結及び更新 (事務局)

- ① 美郷町、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長（3年）
- ② 新潟市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長（1年）
- ③ 岐阜市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長（2年）
- ④ 杵築市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長（2年）
- ⑤ 天草市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定（3年）

3) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施 (事務局)

美郷町にて薬用動植物栽培地の視察と記念植樹

- ・日 程：令和7年7月13日（日）
- ・開会式：美郷町住民活動センター
- ・植樹会場：旧花岡スキー場
- ・見学地：記念植樹（ホオノキ植樹）、薬用植物栽培地見学
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者：18名

4) 薬用動植物国内栽培の実施 (薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培
試作品目：カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、カノコソウ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ホオノキ、センブリ
- ③ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ、ゴミシ
- ④ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ハトムギ、カワラヨモギ、ジオウ、キキョウ
- ⑤ 大分県杵築市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、シャクヤク、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、カンゾウ、キキョウ、カノコソウ、ハナスゲ、ベニバナ、ムラサキ、キバナオウギ、メハジキ

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修。

- ・研修内容：薬草観察会
- ・開催日：令和7年4月19日(土) 10:00~15:00
- ・場 所：武蔵五日市・横沢入(東京都あきる野市)
- ・講 師：池村国弘、南雲 清二、福田 達男(敬称略)

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会 (事務局)

- ・開催日：令和8年1月26日(月) 17:00~20:00
- ・会 場：神田明神会館
- ・開会の挨拶：藤井 隆太会長
- ・新年のご挨拶：小池 百合子(東京都知事)、樋口 高顕(千代田区長)、高橋 正夫(東京都薬剤師会会長)、堀内 満也(八峰町長)、松田 知己(美郷町長)、永松 悟(杵築市長)、横尾 俊彦(佐賀県多久市前市長)、後藤 雄次(東京都医薬品登録販売者協会会長)
- ・閉会の挨拶：金原 徳典最高顧問
- ・参加者：105名

2) 薬用植物生け花展・標本展 (事務局)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力。

- ・開催日：令和7年10月17日(金)
- ・場 所：薬祖神社
- ・参加者：1,850名

通常例年例大祭時に行っているいけばな展・標本展は中止。

Ⅱ. 総会、理事会、委員会等開催

総会	1回	6月					
臨時総会	1回	11月					
理事会	3回	6月	10月	3月			
会計、業務監査	1回	5月					
総務委員会	2回	5月	2月				
学術委員会	6回	4月	5月	8月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
事業管理委員会	3回	5月	11月	2月			
薬用植物国内栽培事業委員会	3回	4月	11月	2月			

Ⅲ. 会員数及び入退会

1. 期首会員数：144名（法人正会員44名、個人正会員57名、賛助会員1名、サポーター会員42名）
2. 期末会員数：149名（法人正会員47名、個人正会員58名、賛助会員1名、サポーター会員43名）
3. 入会（9件）
法人正会員：4名（恵遠ジャパン株式会社、（一社）国産生薬生産普及協会他）
個人正会員：3名
サポーター：2名
4. 退会（4件）
法人正会員：1名（メルスモン製薬株式会社）
個人正会員：2名
サポーター：1名